

「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

研究課題名：セルフ・コンパッション・エクササイズに対する看護
学生の評価 ―5 年間の演習レポートの分析から―

・はじめに

セルフ・コンパッションとは、自分への思いやり、優しさを意味します。セルフ・コンパッションを高めることは、ストレスとともに働らく看護師のバーンアウト予防やメンタルヘルス向上に有用であることが報告されています。セルフ・コンパッションはトレーニングによって、高めることが可能です。

私たち研究チームは、看護学生や看護師が取り組みやすいセルフ・コンパッション・トレーニングのプログラムを開発したいと考えています。

・研究に用いる情報の利用目的と利用方法について

看護学専攻の卒業生・学部生の皆様が、精神看護学総論（2 年次）の授業において作成した、セルフ・コンパッション・エクササイズに対する演習レポートの「エクササイズの評価と感想」の部分、研究データに使わせていただきたいと考えております。

利用方法は、LMS または google forms に提出された演習レポートから、学籍番号、氏名、メールアドレスを削除し、また演習の感想以外の内容が書かれていた場合はその部分を除外して、「エクササイズの評価と感想」部分を抽出します。全員分のデータを、計量テキスト分析ソフトによって解析します。その結果から、各エクササイズの取り組みやすさを比較し、今後、開発するプログラムに取り入れる方法について検討します。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部保健学科看護学専攻で、2021 年度から 2025 年度までの 5 年間に、精神看護学総論（2 年生対象）を受講された方、約 400 名が対象です。

対象となることを希望されない方は、【対象者となることを希望されない方の連絡先】まで、このご案内から 1 カ月以内にご連絡ください。希望されなかった方のレポートは、研究に使用しません。希望されない場合のご連絡は、精神看護学研究室の博士後期課程大学院生がメール対応いたします。ご連絡いただいたことが、科目責任者：近藤浩子に知られることは、一切ありません。

ただし、ご連絡が期日以降になった場合には、ご希望に添えない可能性があることをご了承ください。

・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の許可日より 2027 年 3 月 31 日までです。
演習レポートの利用を開始する予定日は 2025 年 12 月です。

・研究に用いる情報の項目

研究データに用いるのは、「セルフ・コンパッション」に関する演習レポートに記載された①セルフ・コンパッションの尺度評価、②エクササイズ（スージングタッチ、優しい呼吸の瞑想、セルフ・コンパッションブレイク、3つの感情制御システム、慈悲の瞑想）を実施した感想と実施しやすさの評価の項目です。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

本研究により研究対象者となった方が直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありません。研究成果は、将来、看護学生や看護師に取り組みやすいセルフ・コンパッション・プログラムを開発し、看護職のメンタルヘルス向上に貢献できる可能性があると考えています。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学大学院保健学研究科精神看護学研究室では、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、個人情報を管理いたします。

また、本研究の成果の公表（学会や論文等）の際には、個人を特定できる情報は含まれません。

・情報の保管及び廃棄

演習レポート（LMS または google forms からダウンロードした電子ファイル）は、暗号化ファイルにして鍵付き USB に保存し（保管期間：研究終了日、2027 年 3 月 31 日まで）、保健学研究科精神看護学演習室の鍵付のキャビネットに保管し、管理責任者：近藤浩子が厳重に管理します。これは研究期間終了日：2027 年 3 月 31 日に再生不能な状態にして廃棄します。

演習レポートから学籍番号、氏名、メールアドレスを削除し、研究データのみを抽出した分析用データは、暗号化ファイルにして鍵付き USB に保存し、研究成果を公表して、5 年間のデータ保存期間の終了日（2032 年 3 月 31 日）に、再生不可能な状態にして廃棄します。

・研究成果の帰属について

この研究によって生じた知的財産権は群馬大学または研究者に帰属します。
研究に参加していただいた方に、この権利が生じることはありません。

・研究資金について

研究に必要な研究費は、科学研究費補助金によってまかなわれます。
「多忙な医療職のメンタルヘルス向上のためのセルフ・コンパッション・プログラム作成(2023 年度～2025 年度)」基盤研究(C) (課題番号：23K09782)

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないかと、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われなかったのではないかと（企業に有利な結果しか公表されないのではないかと）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・研究組織について

この研究は、群馬大学大学院保健学研究科の精神看護学研究室が主体となり、セルフ・コンパッションの普及に取り組む研究者グループが実施しています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者 所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科・教授

氏名： 近藤 浩子

連絡先： hirokok@gunma-u.ac.jp, 027-220-8984

研究分担者 所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科・大学院博士後期課程
氏名： 小西 美里
連絡先： h212a001@gunma-u.ac.jp

研究分担者 所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科・大学院博士後期課程
氏名： 今井 岳大
連絡先： h212a001@gunma-u.ac.jp

研究分担者 所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科・教授
氏名： 近藤 由香
連絡先： yukondo@gunma-u.ac.jp

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科・教授（精神看護学）
氏名： 近藤 浩子
連絡先：〒371—8514 群馬県前橋市昭和町 3-39-22
Tel：027-220-8984

【対象者となることを希望されない方の連絡先】

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科・大学院博士後期課程
氏名： 小西 美里
連絡先： h212a001@gunma-u.ac.jp

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- （１）研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびに
その方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支

障がない範囲内に限られます。

- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 - ①試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 - ②利用し、または提供する試料・情報の項目
 - ③利用する者の範囲
 - ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 - ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法